

技術士 2 次試験に合格して



鈴木 潤

(すずき じゆん)

勤務先

株式会社 日本製鋼所

風力室 室蘭風力製品部

〒051-8505 室蘭市茶津町 4 番地

TEL 0143-22-0865 FAX 0143-24-3350

E-mail jun_suzuki@jsw.co.jp

■ 専門：機械部門(機械力学・制御)

1. 自己紹介

大学時代の研究を通して風力発電に魅せられてから、風力発電装置メーカーである現在の会社に入社し、以来風力発電の分野で業務を行ってきました。特に、風況関連の CFD 解析や、解析業務を経て、現在は風車性能の改善を目的とした開発に従事しています。なお、日本製鋼所は、2MW クラスの大型風車を手がける国内メーカーであり、現在は既設機の改善、保守、メンテナンスを中心に事業を行っています。

日ごろから、社内業務を通じて自分の知識が増えていくことはやりがいを感じる重要なポイントであると感じていますが、それを定量的に示せるものが資格であるため、機会があれば積極的に挑戦したいと考えています。これまで解析が中心であったため、関連する資格を受験してきましたが、近年業務内容が変化する中で、上司の薦めもあり、技術士の受験に挑戦することとなりました。技術士の資格については、卒業大学が JABEE 認定されていたため知ってはいましたが、周りに技術士がいなかったこともあり、全く意識はしておらず、私にとっては新たな挑戦となりました。

2. 技術士試験について

技術士試験を受けるにあたり、相談する技術士自体がないことに加え、機械部門ということもあり、試験に関する参考書籍が少なく、当初はどうやって勉強をすすめてよいか、手探り状態でした。また、受験した制御分野については、携わるようになってから日が浅く、実務経験が豊富とはいえなかったため、作成した論文が、合格レベルと比較してどの程度の位置にあるかわからない点が非常に不安でした。まずは一度受験してみたのですが、結果はやはり不合格で、そのときに作成した小論文と試験結果をみながら、この一年間こういった論文を書けばよ

いか、対策を検討してきました。昨年の私に不足していたのは、限られた時間の中で論旨を素早く組み立てる力と、分野に関連する知識の不足だと考え、それらを補うことを意識して学習をすすめてきました。とはいえ特別なことはなく、日頃から少しずつ自身の用語等を理解するよう努めるとともに、なかなか計画立てて勉強を進めるのは得意ではないので、振動分野の他の資格試験を平行して受験することとしました。これは非常に大変でしたが、結果として効率的に知識を身に付けることができました。次に、日頃社内で作成するレポートをできるだけ論理立てて記述することを意識しました。また、試験の設問で挙げられる課題を自身の業務や身近な問題に重ね合わせて(あるいは置き換えて)考えることで素早く論旨を組み立てられるようトレーニングを行ったことが効果的であったように感じました。

以上により、また、テーマに恵まれたこともありますが、今年度は無事合格することができました。

3. 今後の抱負

本試験は、自己の技術力を向上させることを主な目的として受験したため、合格により大きな目標を達成することができました。

合格により次の目標を見失っていた部分がありましたが、技術士合格祝賀会の場で話を伺い、技術士としてはここがスタート地点であること、企業以外のつながりが持てる貴重な場があることがわかりました。今後は技術士会の活動を利用して技術士同士の和と自身の技術の幅を広げ、より大きなフィールドで活躍できる技術士になりたいと考えています。

また、受験から合格の一連の流れは技術屋として非常に重要なプロセスであると感じました。企業内技術士として、後身の育成にも貢献していきたいと考えています。